

1 体外受精（新鮮胚・凍結胚移植）で出生  
2 した児の体重についての検討

3  
4 ○橋本和美 渡邊一博

5 （国保松戸市立病院 臨床検査科）

6 奥谷理恵 佐藤明日香 小野亜希子 鈴木義也

7 田巻勇次 （同 産婦人科）

8  
9 【目的】体外受精で受精・分割した受精卵(胚)は、  
10 新鮮胚または凍結胚で移植する。新鮮胚は、卵子と  
11 精子を掛け合わせ受精・分割後 2～5 日 (Day2～Day5  
12 胚)で移植。一方凍結胚は、移植以外の胚を凍結保存  
13 し、別の周期に移植する方法である。今回、新鮮胚  
14 または凍結胚で移植し出生した児の体重について検  
15 討したので報告する。

16 【対象・方法】1997 年 10 月から 2012 年 7 月 (15 年  
17 間)までに体外受精を施行した 310 症例 (2 児・  
18 3 児含む)、937 周期。新鮮胚は、体外受精胚移植  
19 (IVF-ET)、顕微授精 (ICSI)、配偶子卵管内移植  
20 (GIFT (1997-2009 年))を施行。凍結胚は移植以外の  
21 保存胚 (CRYO)を移植した。凍結胚移植は、排卵を推  
22 定し移植する自然周期、ホルモンを補充し移植する  
23 HRT 周期で施行した。

24 【結果】出生した児 (単胎・双胎・品胎) の体重は、  
25 新鮮胚:  $2624 \pm 625$  g、凍結胚:  $2905 \pm 541$  g。  
26 単胎 37 週以上、経膈分娩および帝王切開で出生した  
27 児の体重は、新鮮胚:  $2969 \pm 396$  g、 $2677 \pm 394$  g、  
28 凍結胚:  $3203 \pm 378$  g、 $2911 \pm 324$  g であった。い  
29 ずれも凍結胚の方が重かった。凍結胚移植の方法では、  
30 自然周期:  $2982 \pm 450$  g、HRT 周期:  $2816 \pm 627$  g で、  
31 差はなかった。

32 【まとめ】当院の体外受精で出産した児は、63.8%  
33 が新鮮胚移植、36.2%が凍結胚移植であった。出生  
34 した児の体重は、新鮮胚より凍結胚の方が重かった。

35  
36 047-363-2171  
37  
38  
39